

会員サイト公開用 役員活動報告書

名 前	大淵 修一
担当業務	理事

内 容			
日 付	他団体	会議名	場 所
1月 6日		賛助会員懇談会	ベルサール六本木
		第8回理事会、第4回理事懇談会	六本木会館
3月 2日		第9回理事会諸会議、第5回理事懇談会	六本木会館
		組織強化対策本部	
所感	<p>対面式の賛助会員の懇親会に参加し、企業の日本理学療法士協会に対する期待が感じられた。</p> <p>学術研修会に関する審議が大きい。学術研修会の開催を当該都道府県の独立開催として、日本理学療法士協会は支援金の支出と運営支援と変更することによって、より地域に根ざした開催になるとともに事務処理の簡略化が図られるのではないかと考えられた。</p> <p>管理システムの償却と次期システム開発は大きな課題であると認識している。現在のシステム構成はニーズベースで積み上げられているが、たとえば年間の会費の5%に留めるなど、キャップを想定してシステムをスリム化する必要があるのではないかと。</p> <p>こうした管理を行うためには、貸借対応表のみではなく、支出に占める主要な事業費、経費の割合を示し、こうしたマクロな運営方針の決定をしていくべきではないかと考えた。</p>		
報告日	2024/05/13		

※「他団体」に○がついている項目は、本会役員として他団体に関与しているものです。